

平成27年度第2回庄内町保健医療福祉推進委員会議事録

日 時:平成28年1月20日(水)午後1時30分～午後3時30分

場 所:余目保健センター 検診室

出席委員:菅原源也・齋藤学・高橋博美(代理小松)・佐藤昭一・佐藤トク・小林義廣・大隅香子・本田一夫・齋藤里美・工藤みつ子・渡会弘喜

欠 席 者:本間英雄・富樫俊子

出席職員:佐藤繁課長・海藤主幹・小林裕子補佐・高山正子補佐・佐藤陽子主査・鈴木和智主査・長南ゆかり主査・加藤美子主査・保健師高田美幸

議 長:富樫良秋氏

内容は次のとおり

1. 開会 進行 高山補佐

2. あいさつ 佐藤課長

3. 報告事項

(1)庄内町高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画実績について

佐藤主査 7ページ 介護給付費 について説明

鈴木主査 8ページ 地域支援事業、在宅高齢者生活支援サービスについて説明

齋藤学委員)P7 グラフの見方について

佐藤主査)下が居宅、中が地域密着型、上が施設

富樫委員)カラーにするとわかりやすい

本田委員)P7 地域密着が増えているがなぜか

佐藤主査)施設整備し利用者が増えたため

(2)次世代育成支援対策行動計画(子育て応援プラン)年次報告

小林補佐 平成26年度 子育て応援プラン年次報告書について説明

本田委員)P22 入所者数 町外保育園に委託しなければならない背景は何か

次年度定員を増やすがそれで緩和できるのか

小林補佐)勤務の関係で町外保育園を希望することもあるが、多くは町内保育園に入所できないことによるもの。次年度定員が90名から150名に増え、40名増えることで充足されると思う。

本田委員)なるべく地元で保育できる状況が望ましいと思う。現在の余目保育園の施設はどうするのか。

海藤主幹)次年度解体する予定。その後の利用についてはこれから検討する。

本田委員)余目保育園の施設をどうするのか、聞かれることがある。体育施設の駐車場の問題がある。活用方法は決まっていないのか。

海藤主幹)これから施設を継続利用するには、大規模な修繕が必要な状況。

本田委員)ほたるドーム評判よく駐車場不足している。駐車場になれば良いと気になっていた。

菅原医院)望まれないで産まれた子に対して町で介入しないのか

鈴木主査)かなり前に1件あったが、最近はそのような子はいない。あっても措置として児童相談所で受け入れることになる。

本田委員)P22 「平成26年度末認可保育所入所者数」は、未認可なのか、平成26年度末なのか。上下

の表2つの入所者数と園児の数が違う。

海藤主幹) 年度が変わると児童数が変わることがわかるようにという意味もあり、年度末と4月1日の数を載せている。

齊藤学委員) P25 過去3年間の状況の数は何か。

小林補佐) 各幼稚園の延べ人数を足した人数になっている。

富樫委員) 4学区の学童の利用者数は。

小林補佐) 30名位。これまでとほぼ変わらない。

富樫委員) 古民家を利用した学童保育は、事故がなくて良いと思っているが、町はどう考えているか。

海藤主幹) 4学区は小学校の空き教室を利用しているため、移動がなく安全で良かったと言う声はある。このような形で他の学区もやっていたらと担当課としては考えている。児童数や空き教室の状況をみながら教育課と検討していきたい。

富樫委員) できるだけそのように小学校の校舎で学童保育ができるようにしてもらいたい。

(3) 健康しょうないマイレージ事業について

高山補佐) 資料を説明 平成27年度県内24市町村が実施しており、本町は来年度から実施予定。

菅原委員) けんこうマージャン倶楽部は何を対象にしているのか。

鈴木主査) 今年度から広報で募集しており、住民主体で行ってもらうもの。今年度協力員7名いる。かけない、飲まない、吸わないマージャンとして、男性が集まる場を作って行きたい。来年度スタートにむけて準備している。

菅原委員) 碁や将棋はないのか。

鈴木主査) 参考にしたいと思う。

佐藤トク委員) いきいきサロンも対象になるのか。

高山補佐) 町が主体とするもの、町が関わっているものを対象としている。いきいきサロンも、町の保健師が出向いたものは対象にできるが、どのようにしていくか考えているところ。確認の印の押し方が難しく課題。

本田委員) ポイントの取り方は。アクアしょうないは自分も利用している。

高山補佐) アクアしょうないの事業は町の委託事業を対象にする。

齋藤里美委員) 「国保世帯」とあるが、カードは世帯で持つのか、個人なのか。

高山補佐) 個人に発行する。

小林委員) 職場の健診は何を対象にするのか。明確に示してほしい。1年間の期限とあるが、翌年は0になるのか。説明書きを用意する等明確にしてほしい。

高山補佐) 健診の結果を持ってきてもらい確認したいと思っている。ポイントは繰り越す。ポイント数も翌年は変える。

小林委員) 予算オーバーしたらどうするのか。関心を持っている人は多い。予算が足りなくなることがある。

高山補佐) 協力店が9店舗しかなく、カードを持っても特典が少ない。協力店は増やさないといけないと思っている。

富樫委員) やりながらすすめてほしいと思う。

協議(1) 庄内町母子保健計画(第2次)策定について

高山補佐) 説明

前回の会議でこれまでの評価を説明した(P14) 22項目全体の改善は55%。

P31今後の取り組みについて説明。国の5つの課題に沿って計画を立てた。

富樫委員) 早寝早起き朝ごはんは、以前から取り組んでいるが簡単そうで難しい。どういうふう to 実施したら良いのか、良い考えはないものかと思う。ポイントカードを発行するとか。

菅原委員) 学校保健委員会で取り上げて取り組んでいる。がんばってもらいたい。

工藤委員) アンケート結果から、ほとんどの子が朝食は食べていると思う。学校できちんと教えている。子どもたちは頭に入っている。でも学校では言わないより言い続けたほうがよい。

富樫委員) 何か上手くやる方法はないかと思う。

菅原委員) 少子化の原因は色々あると思うが、出産可能の時期だけでも産まない。高齢出産に手当をやるのはどうか。

高山委員) 町内での高齢出産は40代全般。50代はいない。また、不妊治療の助成は40代にはなく、厳しくなっている。

小林委員) 全戸訪問は、行ったかどうかチェックしているか。商工会でも全会員に訪問することになっているが、日中会えない人がいる。会えなかった人こそ困っていることもある。

高山委員) 全戸訪問の実績はP13にある。出生連絡票が届いてから訪問している。出生28日以内を新生児訪問とし、4か月まで全戸訪問できている。全国的には所在不明の子がいるが、本町では全数把握している。

小林委員) 会えない人には時間外勤務を許可しても対応してほしい。

富樫委員) どの項目でも良いので町民からはやってもらう取り組みをしてほしい。

小松委員) P40 虐待をしていると思う割合が高いと思うが他市町村と比較してどうか。

高山補佐) 今年度から調査している項目で、他市町村との比較はできない。

富樫委員) 他に何かあるか。

高山補佐) パブリックコメントを実施するので、意見があれば提出をお願いしたい。

(2) その他 なし

5 その他

菅原委員) 酒田市のリスク健診の報告が届いた。酒田市でピロリ菌検査、ペプシノーゲン検査を実施。2865人受診しがん発見数22人。バリウム検査9600人受診しがん発見数15人。バリウム検査より発見率3倍位多い。参考にしてほしい。

高山補佐) ドックにオプションとしてピロリ菌検査を導入する予定である。

渡会委員) 新聞に県の事業で2016年度健康増進拠点事業 健康づくりステーションのことが掲載してあった。町でもやってみたらどうか。

高山補佐) 詳しい情報は県からきていない。

高山補佐) 来年度5月末で委員の任期が終了する。来年度は地域福祉計画策定があり3回委員会を予定している。

以上